

# 校内研だより



令和4年10月18日(水)  
研究推進部  
No.17

## 1 第5回校内研究会（研究授業③）

(1) 日時 10月 21日(金) 13:35~16:00

(2) 研究会場 MR

(3) 単元名 社会科「自動車をつくる工業」

(4) 当日の進行

13:35 研究授業 MR 授業者 鈴木 雄士 主任教諭

授業記録（全体） : (分科会)

授業記録（抽出児） : (分科会)、(分科会)

カメラ記録 : 崎浜

14:40 研究協議会 司会: 笠原 協議会記録: (分科会)

- ・挨拶、講師紹介: 校長
- ・分科会提案: 安藤
- ・自評: 鈴木
- ・協議

ジャムボードを使いながら、それぞれに出た視点ごとに協議をお願いします。

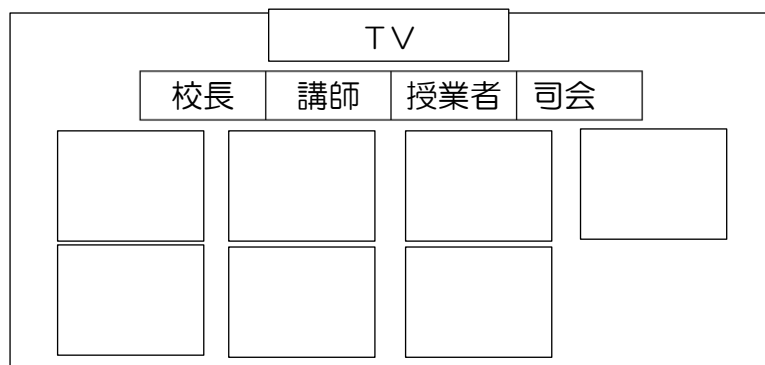
良かった点、課題・改善点、疑問点、質問など

15:20 指導講評

講師 櫻井 眞治先生 (東京学芸大学次世代教育研究センター教授)

16:00 謝辞 高瀬主幹教諭

(5) 会場図 (MR) ※協議会は、児童の机で行う。



当日、席替えします。  
お楽しみに！

(6) 参観の視点

- ・日本の工業の発展を考えることができたか。
- ・本時の問いは適切であったか。
- ・来年度に向けてどうするとよいか。

☆well-being を手掛かりに日本の工業を考えられるか！？大きなチャレンジです！

(7) 事前検討

9/28 校内研 5年「自動車をつくる工業」  
(水)

<授業名目>

- ① ウーブンシティの教科化
- ② Well-Beingの視点 (幸せ)
- ③ 工業の発展とは?
- ④ どんな間があるかは、工業の発展を考えるとわかるか。

① みんなが幸せに持続可能 → ウーブンシティの取組  
水素連立国の交通  
日本の技術輸出では、  
便利(楽) → 日本での生活が豊かに  
A2 保存 → 豊か(20?)  
小規模な  
1000?

② ウーブンシティ = よりよい生活に際する際に (資料)  
フカホーに比べると、技術の向上の面でまだまだ、  
環境・交通、  
③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

① 工業の発展とは?  
② 現時の問い  
わたしたちの生活はどの様に変わっていくのだろうか?  
→ どんな間があるかを考えるか。

この工業の発展について  
自らの考えをまとめる

工業生産に関わる人々は、  
消費者の需要や社会の  
変化に対応し、優れた製  
品を生産するよう様々な  
工夫や努力をしい工業生産を  
支えていること

↑  
その働き  
工業生産に関わる人の工夫や努力

製造の工程  
優れた技術  
工場間の協力関係

理解  
意  
といて  
着目  
調べる



外部からも、たくさんの方にご参会いただきました。広く社会を見つめながら、よりよい形を目指していきましょう。当日も、よろしくお願いいたします。

2 東京大会 プレ研究発表会について (最後に案内を添付しています。)

(1) 日時 11月 11日(金) 13:30~16:45

(高瀬先生、松本先生、笠原は環境面や庶務面を見てくるので早く出ます。補教のご協力をお願いします。)

(2) 会場 新宿区立四谷小学校 (JR四ツ谷駅から徒歩7分)

(3) 公開授業参観分担

学年	組	単元名	参観者
1	1	たのしいあき いっぱい	
	2		
2	1	もっとなかよし まちたんけん	
	3		
3	1	新宿区の移り変わり	
	2		
4	1	受け継がれる 伝統や文化	
	2		
5	1	くらしと産業を変える 情報通信技術	
	3★		
6	1	明治の新しい 国づくり	
	2		

- ☆一クラス2人の参観になります。
  - ☆5年3組 (★) は体育館で中継を行うので、何人でも大丈夫だそうです。
  - ☆原則、現在の担任の学年でお願いします。低学年担任の方は、低学年の生活科授業を参観後、低学年分科会に参加してください。
  - ☆専科の先生は、学年と専科内で相談してください。
  - ☆梅の実の先生方は、低学年または他の学年の授業を参観してください。
- 10月28日(金)までお願いします。**
- ☆各学年で相談の上、笠原に報告をお願いします。

3 その他

☆振り返りについて学年で話してみてください。

☆ペーパーレス活動にご協力をお願いします。

☆10月21日(金) 校内研究会⑥ (研究授業④5年生) **研究日より⑦**

☆ 26日(水) 校内研指導案検討 (4年生)

☆11月 1日(火) 校内研指導案検討 (1年生)

## 4 指導案

### 第5学年 社会科学習指導案

日時 令和4年10月21日(金)  
(5校時 13:35~14:20)  
対象 5年3組 30名  
授業者 鈴木雄士  
場所 アリーナ2階 ミーティングルーム

#### 1 小単元名 「自動車をつくる工業」(全10時間)

#### 2 小単元の目標

我が国の自動車工業について、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめ、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することを通して、自動車工業に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとしたり、工業の発展について願いをもったりして、我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

#### 3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて地図帳や各種の資料等で調べ、必要な情報を集め、読み取り、工業生産に関わる人々の工夫や努力について理解している。 ②調べたことを図表や文などにまとめ、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解している。	①製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて着目して、問いを見出し、工業生産に関わる人々の工夫や努力について考え、表現している。 ②工業生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、工業生産に関わる人々の働きを考えたり、学習したことを基に、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの工業の発展について自分の考えをまとめたりして、適切に表現している。	①我が国の自動車工業の生産について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に、消費者や生産者の立場などから多角的に、これからの工業の発展について考えようとしている。

#### 4 目指す子供像

本実践では、トヨタが取り組んでいるウーブンシティを取り上げる。そのために、「つかむ」段階でトヨタの社長の考え方を提示することで、追究課題の一つにしていく。「調べる」段階では、ウーブンシティの取り組みや理念を調べたり考えたりすることを通して、他の工業にも目を向ける。さらに、「つなぐ」段階では、様々な企業の取組について話し合いを進めることで、工業の発展を考えることができる。こうした活動を通して、様々な立場から多角的に考え、消費者の需要や社会の変化に対応していくことの大切さを実感するとともに、これからの工業について考えようとする子供の育成を目指す。

#### 5 教材について

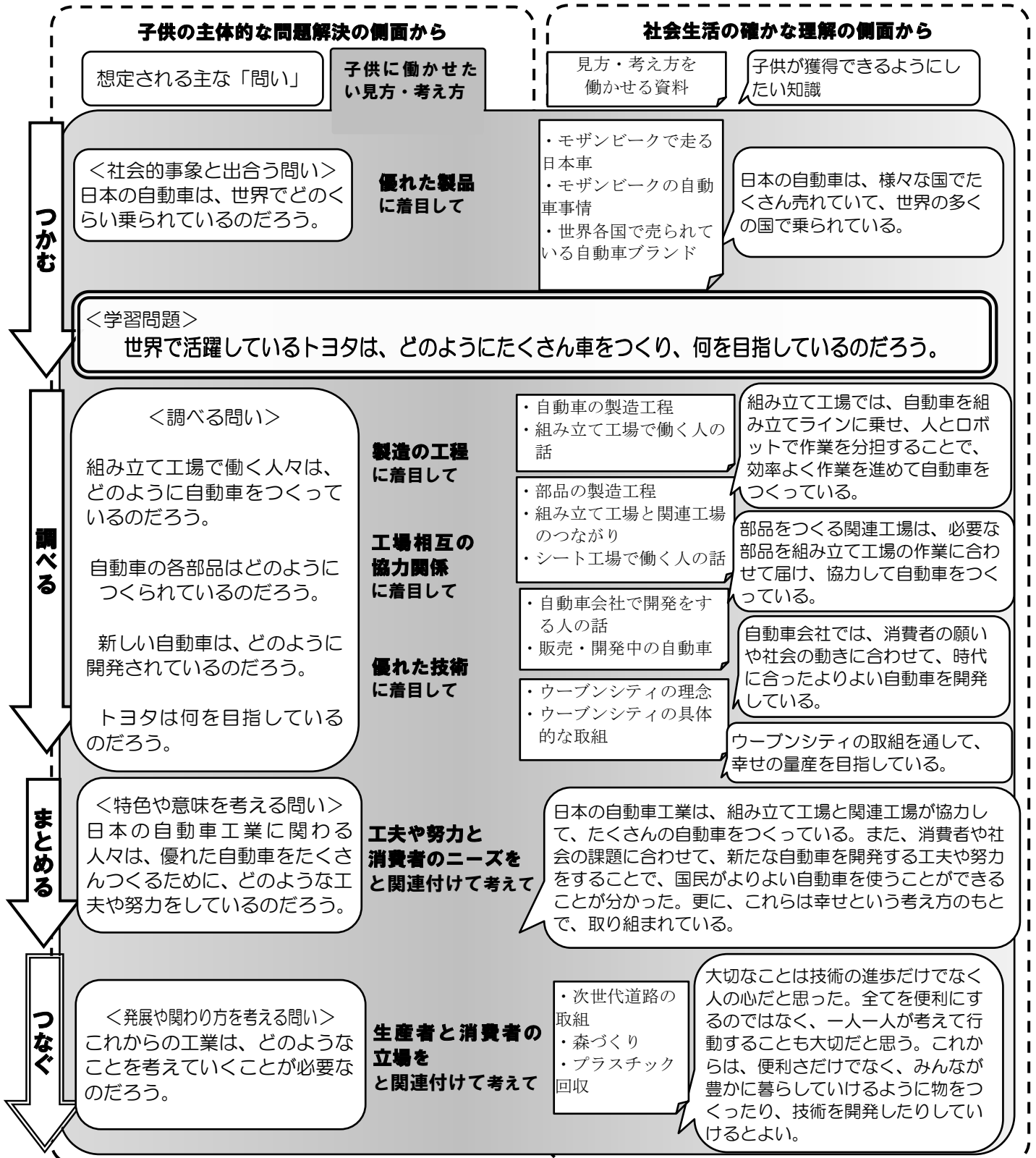
事例地として取り上げた豊田市は、「クルマのまち」として全産業に占める自動車産業の割合が非常に高い。豊田市には自動車工場が6つあり、自動車関連工場は357ある。豊田市の工場で働く人の85%の人々が自動車に関わる工場に働いている。また、豊田市の製造品出荷額等は13兆847億円で愛知県では第1位、全国でも第1位である。そして、その中でも自動車関連工場の製造品出荷額等は、12兆6294億円で全体の96.5%を占めている。これらのことから、豊田市は自動車産業を中心とした工業都市であり、自動車づくりが盛んな地域であるため、事例地として取り上げた。

また、本実践では、トヨタの社長のwell-beingに基づく考え方「幸せの量産」を教材化する。「調べる」段階で2時間をかけて、自動車会社の新たな取組である「ウーブンシティ」を取り上げる。自動車だけではなく、まちづくりを含めた研究開発について学習する教材として活用することで、これからの自動車工業だけでなく、工業の発展について子供たちが考えることができる。

## 6 小単元の構想

**学習経験**

国土の単元では、「気候」や「地形」など自然条件と人々の暮らしには、密接な関係があることを学んできた。国土の学習を生かして、産業や自然環境の学習を見通すことができている。前小単元では、食料生産について稲作や水産業を事例に調べてきた。「生産の行程」や「人々の協力関係」などからは、工夫に目が向くようになったり、「生産量の変化」や「輸入など外国との関わり」などからは、海外との関係を考えるようになったりしている。本小単元でも、これまで培われてきた見方・考え方を生かして、「優れた技術」や「工業の発展」を考えていきたい。



## 7 研究内容との関連

### (1) 主体的に問いを追究する工夫

#### ○問題意識を高める工夫

日本の自動車がいかにモダンで走っていることや、世界各国で1番売れている自動車メーカーについて示すことで、日本の自動車は世界で人気があることへの問題意識を高める。また、自動車会社の新たな取組と自分たちの生活との関連を話し合うための問いを設定し、自分たちの考えを交流しながら、産業の発展や国民生活の向上に目を向けることができるようにする。

#### ○見通しをもつ工夫

製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術など着目する点に整理・分類して、それぞれ予想した上で学習計画を立てることで、学習の見通しをもつことができるようにする。

#### ○内容や方法を選択できる工夫

教科書以外に資料を持参したり、タブレットPCを用いて教材を活用したり、インターネット検索して情報を集めたりするなど、調べ方を子供が選択できるようにする。また、学習形態も個人、ペア、グループなど選択できるようにする。

#### ○協働的に取り組む工夫

様々な資料や方法で調べたことについて、友達と共有する時間を設け、調べたことの妥当性を確認しながら学習を進める。

#### ○学びを振り返る工夫

様々な方法で調べたことについて、毎時間整理して、学習を振り返る時間を設定する。

### (2) 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

#### ○位置や空間的な広がりから見る

自動車の製造が盛んな地域の工場の数や、工場の分布の仕方について着目できるように、地図や生産額、写真資料などで、自動車の製造に必要な条件について調べる活動を行う。

#### ○事象や人々の相互関係から見る

豊田市で自動車づくりが盛んな理由＝工夫や努力に着目できるように、組み立て工場の製造工程や、工場相互の協力関係について調べる活動を行う。また、自動車づくりに関わる人々の協力関係に着目できるように、関係を図に整理して相互関係を可視化する活動を行う。

#### ○時期や時間の経過から見る

優れた技術に着目できるように、生産台数の変化や、組み立て工場・関連工場の製造工程から、効率よく製造する工夫や努力について調べる活動を行う。また、持続可能性に着目できるように、自動車会社の新たな取り組みや、社会の要請や消費者の需要に対する研究開発について調べる活動を行う。

#### ○比較・関連・総合して考える

「なぜ日本の自動車は世界で人気があり、多く生産できるのか。」を問うことで、様々な人々の工夫や努力を関連付けたり、生産者と消費者を関連付けたりして理由を考え、話し合う活動を行う。また、思考ツールに学んで獲得した知識を整理したり、自動車工業に関わる人々の思いを位置付けたりする活動を行う。

### (3) 子供の学びを確かにする評価

#### ○自分の方法に合った調べ学習

「調べる」段階では、思考ツールやノートを活用について、子供にこれまでの学びから最適だと思うものを選択させる。そこで、学習内容を一人一人がどのように理解をしているのかを見取っていく。また、自分が調べたものを見直すことによって、子供自身も自分の学びを一目で振り返られるので、調べる内容の関連を考えたり、調べ直したりすることができる。

#### ○次の学びに繋がる振り返り

毎時間の振り返りについては、「ふりかえりの問い」をカードにして活用する。その際に、感想ではなく、次の自分の学びにつながる振り返りが書けるように指導する。全ての問いについて、毎時間振り返るのではなく、毎時間の学習活動や評価に合わせて、教師と子供で選択しながら振り返りを行う。このことにより、次の時間の見通しをもつことができ、自分の考えを整理することができる。また、この問いの項目については、定期的に子供と話し合いながら修正している。これらの取組によって、子供は自らの学びを自覚できると考えた。

(4) 本実践の特色ある教材  
＜オープンシティ＞

**従来の自動車学習にとどまらない！**

**未来の産業の在り方の一つ**

**Well-Being  
の体現！**



**工業の  
発展を  
考えられる！**

**自動車をつくる→社会をつくる→そこにいる全ての人を幸せに！**

## 8 小単元の指導計画（全10時間）

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ◆問い ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手だて
つかむ	<p>日本の自動車は世界の中でも販売台数が多く、世界の様々な国で乗られていることを理解する。 ①</p>	<p>○どのようなときに車に乗っているのかを話し合う。 ・習い事に行くときに乗っている。 ・買い物に行くときに乗っている。 ○どうして日本の自動車がモザンビークで使われているのかを考える。 ・どうして日本語を消さずに使っているのだろう。 ・日本語が書かれたままで、アルファベットのナンバーだ。 ・日本の自動車は性能がよいのかもしれない。 ・どうして遠い国に日本の車があるのだろう。 ○モザンビーク以外の国では、日本の自動車がどれくらい使われているのか予想する。 ・他の国でも日本の自動車は使われている。 ・日本の車ではなく、その国の自動車が使われている。 ◆日本の自動車は世界でどれくらい乗られているのだろう。 ○モザンビーク以外の国では、日本の自動車は世界でどれくらい売れているのか調べる。 ・世界中で日本の自動車がたくさん売れている。 ・44か国でトヨタの自動車の販売台数は1位。 ・多くの国でトヨタの自動車は1番売れている。 ・地域によって売れている自動車メーカーが違う。 ●振り返りを書き、次時への見通しをもつ ・日本の自動車が様々な国でたくさん売れていてすごい。 ・日本の自動車は、世界の多くの国で乗られている。</p>	<p>□自分たちの生活には車に欠かせないことに気付かせる。 ◎モザンビークで走る日本車 ◎モザンビークの自動車事情 □より日本に近い他の国では、日本の車が使われているのか、疑問をもたせる。  ◎世界各国で最も売られている自動車ブランド（地図） □優れた製品に着目できるように、世界での販売台数に関する資料を示す。 【知技①】ノートの記述や発言内容から「日本の自動車の販売台数が多く、世界の様々な国で乗られていることを理解しているか」を評価する。</p>
	<p>自動車づくりが盛んな地域における自動車の生産台数や、工場の分布について捉え、日本の自動車工業について学習問題をつくり、学習計画を立てる。②</p>	<p>◆豊田市はどのようなまちなのだろう。 ○豊田市はどのようなまちなのか調べる。 ・たくさんの自動車工場がある。 ・自動車工場が集まっている。 ・豊田市の多くの人が、自動車に関する仕事を行っている。 ○トヨタ堤工場について調べる。 ・1年間で多くの車をつくっている。 ・1日当たり1020台の車をつくっている。 ・1つの工場で、多くの種類の車をつくっている。 ○日本の自動車に関して、疑問や考えを出し合い、学習問題をつくる。 ・世界で評価の高い自動車をどのようにつくっているか。 ・たくさんの自動車をどのようにつくっているのか。 ・評価が高い自動車をどのように開発しているのか。</p>	<p>◎豊田市周辺の主な工場 □工場の分布に着目できるように、豊田市の地図上で場所を示す。 □日本の自動車の優れている点に着目できるように、世界での販売状況について振り返る。</p>
<p><b>学習問題：世界で活躍しているトヨタは、どのようにたくさん車をつくり、何を目指しているのだろう。</b></p>			
		<p>○学習問題の予想をする。 ・多くの工場と協力して自動車をつくっている。 ・機械を使ってたくさん自動車をつくっている。 ・流れ作業で効率よくたくさんの車をつくっている。 ・どんな車なら世界に売れるのか調べている。 ・新しい自動車を開発するために努力している。 ○予想を整理し、学習計画を立てる。 ・自動車をたくさんつくる工夫（生産の工程）。 ・関連工場と協力して自動車をつくる工夫（関連工場との連携）。 ・評価の高い自動車をつくることのできる工夫（研究開発）。</p>	<p>【思判表①】発言内容から「製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術に着目して問いを見出しているか」を評価する。 【態①】ノートの記述や発言内容から「学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。</p>

	<p>組み立てラインの写真や組み立て工場の人の話などから必要な情報について調べ、組み立て工場のしくみや工夫について理解する。③</p>	<p>◆<b>組み立て工場働く人々は、どのように自動車をつくっているのだろう。</b></p> <p>○自動車工場での生産の工程を調べ、働く人がどのようなことを考え生産しているか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレス→溶接→塗装→組み立て→検査と工程を分けて行われている。</li> <li>・ラインごとに組み立てを行い、異常があったときにすぐに解決している（呼び出しボタン、アンドンなど）。</li> <li>・部品を用意する人と、取り付ける人に分かれて作業を行っている。</li> <li>・人とロボットが作業を分担して、効率よくつくっている。</li> <li>・機械を使い、同じ動作の作業や、大きい部品や重い部品を取り付ける作業を行っている。</li> <li>・ドアを外して作業を行い、作業者の負担を減らすようにしている（らくらくシート）。</li> <li>・作業者の負担や効率をよくするための工程が考えられている。</li> </ul>	<p>◎自動車工場の生産工程</p> <p>□製造の工程や優れた技術に着目できるように、作業手順ごとに捉えさせ、働く人の作業や願いについて考えさせる。</p> <p>□作業の効率化や正確性の工夫に気付かせる。</p> <p>【知技①】発言やノートなどの記述から「必要な情報を集め、読み取り、組み立て工場のしくみや工夫について理解しているか」を評価する。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">しらべる</p>	<p>組み立て工場と関連工場とのつながりの図や、シート工場の人話から必要な情報について調べ、自動車の部品工場の様子や関連工場と組み立て工場とのつながりについて理解する。④</p>	<p>◆<b>自動車の各部品はどのようにつくられているのだろう。</b></p> <p>○関連工場の数や位置について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車工場のまわりに関連工場がある。</li> <li>・愛知県内（豊田市）には、たくさんの工場が集まっている。</li> <li>・関連工場で、自動車の部品はつくられているのではないかな。</li> </ul> <p>○関連工場では、どのような部品を製造し、どんなことに気を付けて自動車工場に運んでいるのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人とロボットで作業を分担しながら、つくっている。</li> <li>・約3万個あるたくさんの部品を、関連工場で作っている。</li> <li>・すぐに部品を届けることができるように、関連工場は自動車工場の近くにある。</li> </ul> <p>○組み立て工場と関連工場の役割や特徴、関係について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細かな部品をつくる工場→小さな部品をつくる工場→部品をつくる工場→組み立て工場というように、関連工場で作られた部品を自動車工場が組み立てている。</li> <li>・決められた時間に合わせて、必要なものを、必要なだけつくり、組み立て工場に届けている（ジャスト・イン・タイム）。</li> <li>・部品が足りなかったり、置き場所に困ったりしないようにしている。</li> <li>・高い技術で、正確に細かな部品を生産している。</li> <li>・関連工場と役割分担し品質の高い自動車を生産している。</li> <li>・組み立て工場は多くの関連工場に支えられ、お互いに協力しながら自動車をつくっている。</li> </ul>	<p>◎自動車会社の工場と主な関連工場</p> <p>◎シート工場働く人の話</p> <p>□小さな部品をつくる関連工場の高い技術に着目させる。</p> <p>◎組み立て工場と関連工場のつながり</p> <p>□工場相互の協力に着目できるように、関連工場と組み立て工場の取り組みについて矢印でつないだり、役割について考えたりさせる。</p> <p>【知技①】発言やノートなどの記述から「必要な情報を集め、読み取り、自動車の部品工場の様子や関連工場と組み立て工場のつながりについて理解しているか」を評価する。</p>
	<p>人々の願いに合わせた自動車開発について調べ、社会の問題とのつながりについて理解する。⑤</p>	<p>○研究開発の変遷を手がかりにして、本時の問いをつかむ。</p> <p>◆<b>新しい自動車は、どのように開発されているのだろう。</b></p> <p>○自動車の研究開発の取組について調べ、開発者の思いや願いについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料電池自動車など、環境に配慮された自動車がつくられている。</li> <li>・誰もが安全で安心して走ることができる自動車がつくられている。</li> <li>・消費者のニーズや社会の問題を解決するために、世界の中でも高い性能の自動車を研究開発し、研究開発に多</li> </ul>	<p>◎研究開発の取組</p> <p>◎自動車7社研究開発費</p> <p>◎研究開発費の推移</p> <p>□優れた技術に着目できるように、社会や消費者のニーズに応えるために行っている、自動車づくりに携わる人々の工夫や努力について考えさせる。</p> <p>□消費者の需要や社会の変化に対する技術の開発に</p>



	<p>くのお金が使われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境を守るための取り組みとして、自動車のリサイクルにも力を入れている。</li> </ul>	<p>着目させる。</p> <p>【知技①】発言やノートの記述から「必要な情報を集め、読み取り、消費者の需要や社会の変化に合わせて自動車開発を行っていることについて理解しているか」を評価する。</p>	
	<p>自動車会社の新たな取組について調べ、理念や安全に配慮した研究開発について理解する。⑥⑦</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動車会社の新たな取組であるウーブンシティについて、調べたいことやみんなで考えたいことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしてこんな取組をするのか。</li> <li>・どんなことができるのか。</li> <li>・これから自分たちの生活のどんなことが変わるのか。</li> </ul> </li> <li>◆トヨタは、何を狙っているのだろう。</li> <li>○ウーブンシティの背景として世界の現状や課題、トヨタの理念、ウーブンシティで試行されていることなどを調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した車やまちづくりが進んでいる。</li> <li>・通信技術を用いて、ヒトやモノの移動が安全に行われる。</li> <li>・どんなに便利になっても、地球そのものを考えて自動車をつくらないと、いつか環境破壊で人間が苦しむ。</li> <li>・自動車会社は、環境や安全に配慮しながら人々の暮らしをよりよくするために研究開発に取り組んでいる。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎TOYOTA ウーブン・シティの取り組み</li> <li>◎トヨタの理念</li> <li>◎世界における工業生産の課題や現状</li> <li>□子供の実態に応じて思考ツール(Yチャートや同心円チャート)を例示し、取組と今後変わることを整理したり、考えたりできるようにする。</li> </ul> <p>【知技②】発言やノートの記述から「自動車会社の新たな取組について、消費者や生産者の立場から多角的に考え表現しているか」を評価する。</p>
<p>まとめる</p>	<p>調べたことについて関係図に整理し、学習問題について話し合い、考えをまとめる。⑧</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べて分かったことや考えたことを関連図にまとめる。</li> <li>◆日本の自動車工業に関わる人々は、優れた自動車をたくさんつくるために、どのような工夫や努力をしているのだろう。</li> <li>○相互の関係について話し合い、学習問題に対して分かったことや、考えたことをまとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>日本の自動車工業は、組み立て工場と関連工場が協力して、たくさんの自動車をつくっている。また、消費者や社会の課題に合わせて、新たな自動車を開発する工夫や努力をすることで、国民がよりよい自動車を使うことができることが分かった。更に、これらは幸せという考え方のもと、取り組まれているので、もう少し他のことについても調べたり、話し合ったりしてみたい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□自動車ができるまでの取組を相互に関連付けて、関係図に整理できるようにする。</li> </ul> <p>【思判表②】関連図の内容から「学習したことを基に、自動車工業の仕事、工夫や努力について考えを説明しているか」を評価する。</p> <p>【知技②】ノートやワークシートの記述から「自動車工業に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化を対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解しているか」を評価する。</p>
<p>つなぐ</p>	<p>自動車会社以外の新たな取組について調べ、理念や安全に配慮した研究開発について関心をもつ。⑨</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自動車会社以外の新たな取組について、調べたいことやみんなで考えたいことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・トヨタのウーブンシティ以外にも、何かをしているのではないだろうか。</li> <li>・車以外の工業製品でも、新たな取組をしていそうだ。</li> <li>・これから自分たちの生活のどんなことが変わるのか。</li> </ul> </li> <li>◆わたしたちの生活は、どのように変わっていくのだろう。</li> <li>○自動車工業以外の新たな取組の意図や目的、理念などを、事例を通して調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・走行中の電気自動車に給電をする道路を開発している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎次世代道路の取組</li> <li>□子供の実態に応じて思考ツール(Yチャートや同心円チャート)を例示し、取組と今後変わることを整理したり、考えたりできるようにする。</li> </ul> <p>【態度②】発言やノートの記述から「様々な企業の取組について、消費者や生産者の立場などから多角的に</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と自然が触れ合える森づくりを行っている。</li> <li>・プラスチック回収の実証実験を開始している。</li> </ul>	<p>考えようとしているか」を評価する。</p>
<p>これまでの学習を基に、日本の工業の発展について考え、まとめたことを話し合う。⑩</p>	<p>○前時で調べたことを基に、今後、自分たちの生活で変化していくことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界的には環境に配慮した車の生産が進んでいて、そもそも売られている自動車自体が環境にも安心な物でないと、地球温暖化は防げない。</li> <li>・あらゆる物が通信でつながっていれば、誰でも安心・安全に自動車などの物を使うことができる。そういう未来のまちづくりをしている。</li> </ul> <p>○話し合ったことを発表し合い、考えを共有する。</p> <p><b>◆これからの工業は、どのようなことを考えていくことが必要なのだろう。</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>大切なことは技術の進歩だけではない。全てを便利にするのではなく、一人一人が考えて行動することも大切だと思う。これからは、便利さだけでなく、みんなが豊かに暮らしていけるように物をつくったり、技術を開発したりしていけるとよい。</p> </div>	<p>◎前時の思考ツール</p> <p>□前時に、オープンシティについて調べたことを基に、少し先の自分たちの生活がどのように変化していくかを考えるようにする。</p> <p><b>【態度②】</b>発言やノートの記述から「これからの自動車工業の発展について、考えをまとめようとしているか」を評価する。</p>

## 9 本時の学習 (10/10時)

### (1) 本時のねらい

これまでの学習を基に、日本の工業の発展について考え、まとめたことを話し合う。

### (2) 本時の展開

	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ◆問い ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手だて
導入	<p>○問いの確認を行い、前時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境や安全に配慮して車やまちづくりをしている。</li> <li>・通信技術を使うことで、ヒトやモノの移動が安全に行われるように研究開発をしている。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">◆わたしたちの生活は、どのように変わっていくのだろう。</p>	<p>◎前時までの資料</p> <p>□前時は、今後の生活の変化に着目しながらGDWの理念や具体的な取組について調べた。本時では、改めて同じ問いを継続して追究させる。</p>
展開	<p>○今後、自分たちの生活で変化していくことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界的には環境に配慮した工業製品の生産が進んでいて、そもそも売られている製品が環境にも安心な物でないと、地球温暖化は防げない。</li> <li>・あらゆる物が通信でつながっていれば、誰でも安心・安全に使うことができる。そういう未来のまちづくり、ものづくりをしている。</li> <li>・自動で動く製品を使い、人の移動や物が運ばれるようになることで、今後、生活はより便利になっていく。</li> </ul> <p>◆便利さを追求することが、本当に豊かに生活できているということなのだろうか。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">①4~5人グループで話し合う。 ②グループごとに考えたことを発表する。 ③他のグループからの意見を踏まえて、同じグループで話し合う。</p>	<p>□前時に、様々な企業の取組について調べたことを基に、少し先の自分たちの生活がどのように変化していくかを考えるようにする。</p> <p>□自分たちの生活の変化について、話し合ったことを図解化して整理する。</p> <p>□グループから出た意見を、黒板に整理してまとめる。</p> <p>□話し合いの様子を見て、問い返しを行う。</p>
終末	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">◆これからの工業は、どのようなことを考えていくことが必要なのだろう。</p> <p>○これからの工業の発展について、自分たちの生活との関わりから考え、ノートに自分の考えをまとめる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">大切なことは技術の進歩だけではない。全てを便利にするのではなく、一人一人が考えて行動することも大切だと思う。これからは、便利さだけでなく、みんなが豊かに暮らしていけるように物をつくったり、技術を開発したりしていけるとよい。</p>	<p>□社会のニーズに合った考えや新たな研究開発の取組について、前時の学習を振り返ることで、これからの工業にはどのような考えが大切なのか、考えることができるようにする。</p> <p>【態度②】発言やノートの記述から「これからの工業の発展について、考えをまとめようとしているか」を評価する。</p>

### (3) 本時の板書計画

わたしたちの生活は、どのように変わっていくのだろう。	これからの工業は、どのようなことを考えていくことが必要なのだろう。
各グループから出た意見を整理する。	

## 5 東京大会 プレ研究発表会案内

令和4年9月27日

都小社研役員・正副部長 様  
各地区社会科部長・地区委員 様  
都小社研研究推進委員 様  
新宿区社会科研究部員 様  
社会科教育関係者 様

東京都小学校社会科研究会  
会長 和田 幹夫  
(板橋区立上板橋第四小学校長)

第61回全国小学校社会科研究協議会研究大会  
第22回関東地区小学校社会科研究協議会研究大会  
令和5年度東京都小学校社会科研究会研究発表会

### 東京大会 プレ研究発表会のご案内

【研究主題】

#### 社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する学習を通して～

◇ 日 時 令和4年 11月11日(金) 13:30～16:45

◇ 会 場 新宿区立四谷小学校(石井 正広 校長)  
Tel 03-5369-3776  
最寄り駅(JR/地下鉄丸ノ内線/南北線・四ツ谷駅から徒歩7分)

◇ 時 程

13:15 13:30 14:15 14:30 15:15 15:30 16:45

受付	公開授業 ※生活科は13:45開始	移動	学年分科会	移動	会場全体会・講評
----	----------------------	----	-------	----	----------

◇ 講 師 大妻女子大学教授 澤井 陽介 先生

◇ 参加申込み

都小社研役員・正副部長・・・星崎校長へ(四谷小会場運営担当)  
各地区社会科部長・地区委員・・・各会場校運営担当者へ  
都小社研研究推進委員・・・各学年世話人へ  
新宿区社会科研究部員・・・新宿区立四谷小学校田内副校長へ  
四谷小会場校別推進委員・・・星崎校長へ(四谷小会場運営担当)

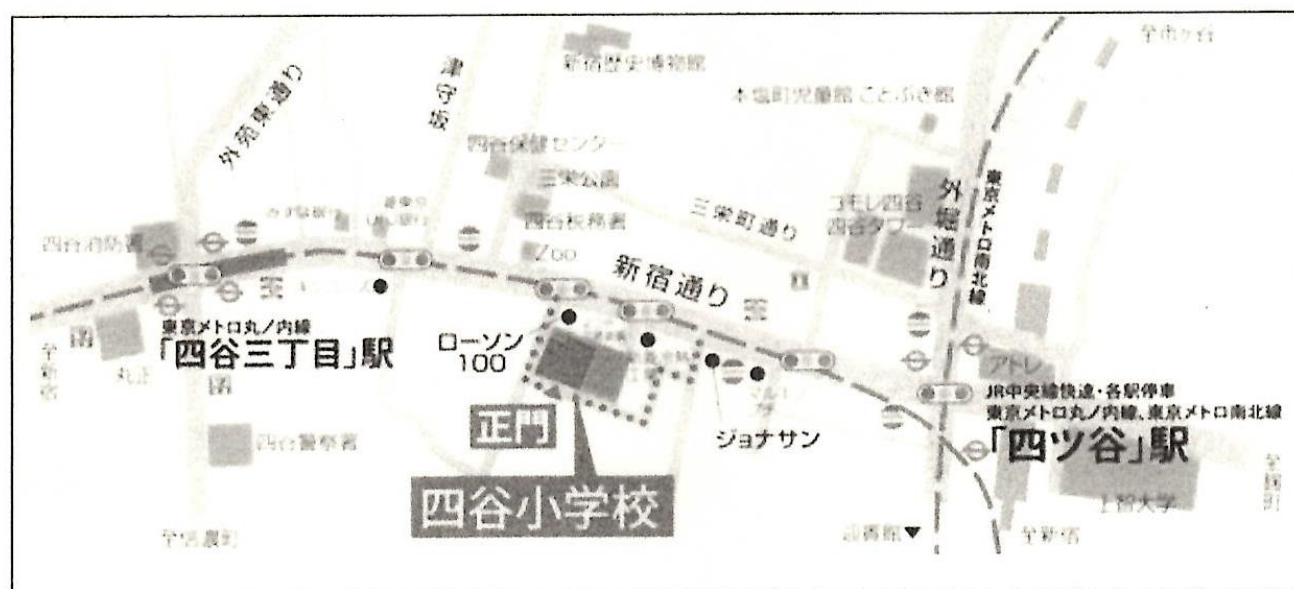
※参加申込書はありません。メール、電話等でお伝えください。

◇ 公開授業一覧

	組	授業者	単元名	授業提案者	司会者	助言者	協議会記録者								
1年	1	大島なぎさ	たのしいあき いっぱい	低学年分科会と参観者 での協議会		新宿区教育 委員会指導 主事									
	2	渡邊 正美													
2年	1	塚田 麻衣	もっとなかよ しまちたんけん							鹿島 正史 先生					
	3	長田 英恵													
3年	1	菊池 友也	新宿区の移り 変わり									新宿区立富久 小学校 主任教諭 近藤 直大	板橋区立志 村第一小学 校 主幹教諭 渡辺 智史	中野区立北原 小学校 校長 佐藤 民男	板橋区立下赤 塚小学校 教諭 杉原 歩志
	2	下楠 蘭達也													
4年	1	早川 雅	受け継がれる 伝統や文化	世田谷区立鳥 山北小学校 主任教諭 名取 慶	足立区立平 野小学校 主任教諭 板橋 海	青梅市立今井 小学校 校長 神尾 健彦	新宿区立市谷 小学校 教諭 島崎 美早								
	2	松木 貫太													
5年	1	香取 桜子	くらしと産業 を変える情報 通信技術	町田市立鶴川 第四小学校 主任教諭 後藤 亮	町田市立小 山小学校 主任教諭 嶋中 智彦	中野区立桃花 小学校 校長 吉川 正	大田区立雪谷 小学校 教諭 平岡 秀太郎								
	3	坪田 真尚													
6年	1	小松 里実	明治の新しい 国づくり	北区立王子小 学校 主幹教諭 小甲 圭悟	世田谷区立 経堂小学校 主任教諭 吉岡 泰志	福生市立福生 第六小学校 副校長 田村 忍	世田谷区立 等々力小学校 主任教諭 渡邊 歩								
	2	瀧上 悠太													

新型コロナウイルス感染症の感染予防として、各教室に入れる人数を制限させていただきます。各教室に入れない方は、体育館でオンラインによる授業を参観していただくこととなります。

<学校地図>



<運営に関する問い合わせ>

四谷小会場運営担当  
足立区立千寿双葉小学校長 星崎 誠  
TEL 03-3888-6326 FAX 03-3888-6327

<四谷小学校に関する問い合わせ>

新宿区立四谷小学校副校長 田内利美  
TEL 03-5369-3776 FAX 03-3341-4343